

会議要旨

【開催概要】

会議名称	令和4年度 第1回富田林市子ども・子育て会議
開催日時	令和4年11月18日（金）9：30～12：00
開催場所	市役所3階 庁議室
出席委員 (名簿順表記)	・井上委員（会長）・峯委員・恒川委員（副会長）・辻野委員 ・原委員・大道委員・竹田委員・廣崎委員・岩井委員・松田委員 ・北谷委員・北代委員・多加谷委員 (計13名)
欠席委員	・中尾委員・福田委員・永田委員・森委員・岡野委員
事務局	こども未来室：寺元室長(子育て福祉部付部長)、辻野次長、 小島課長、森参事、谷田課長代理、廣谷、佐藤、今井 教育指導室：山口参事
会議次第	1. 開会 2. 委員および事務局自己紹介 3. 会長および副会長選出 4. 会議の公開および会議記録の作成について 5. 案件 (1) 第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について (2) 「(仮称) 富田林市子どもの貧困対策計画(素案)」の策定について 6. その他 7. 閉会
公開 / 非公開	公開
傍聴者	0人
その他	なし

【議事要旨】

	<p>1. 開会 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">・置田副市長より挨拶
	<p>2. 委員および事務局自己紹介 (各委員および事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">・配布資料確認
	<p>3. 会長および副会長選出 会長⇒井上委員、副会長⇒恒川委員</p> <ul style="list-style-type: none">・井上会長、恒川副会長挨拶・会議成立要件の確認 (委員 18 名中、過半数を超える 13 名が出席のため成立)
	<p>4. 会議の公開および会議記録の作成について</p> <ul style="list-style-type: none">・会議は、引き続き原則公開とする。・会議記録についても、引き続き要旨記録として作成し、市ウェブサイト等で公開する。
	<p>5. 案件 (1) 第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none">●資料4-1～3「教育・保育の量の見込みと確保方策（提供量）に対する実績など」、資料5「地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策（提供量）に対する実績など」の説明 (説明省略)
会長	<p>◇第2期子ども・子育て支援事業計画は令和2年4月から5か年の計画で、今年が計画期間の中間地点となる。中間見直しについての見解を聞きたい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none">●令和4年3月に内閣府より「第2期市町村子ども・子育て支援事業計画等に関する中間見直しのための考え方について」が示されている。これに基づき見直しを行ったところ、教育・保育の量の見込みについては、資料4-3「教育・保育の量の見込みと確保方策（提供量）に対する実績」の表にある1～3号認定のすべてにおいて、10%以上の乖離はなかった。 資料5(2ページ目以降)「地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策（提供量）・実績」については、乖離幅が大きい事業と10%以上の乖離がない事業があり、量の見込みを実績に合わせていくという形で見直すことは適切ではないと考える。 以上により、教育・保育の支給認定区分ごとの実績では10%以上の乖離がないことから、事業計画の見直しは必要ないと考えている。
会長	<p>◇事務局から説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。</p>
委員	<p>◇地域子ども・子育て支援事業の⑦子育て援助活動支援事業の高学年は2年連続で大幅に乖離している理由は何か。</p>

事務局	●基本的には高学年にはあまりニーズがない事業である。令和2年度と令和3年度は同じ子どもが定期的に利用したことにより実績が多くなっており、その年度によって予測がつきにくいいため、このような結果になっている。
事務局	●資料6「その他子育て支援事業等の利用状況」の説明 (説明省略)
会長	◇事務局から説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。 (意見等なし)
事務局	(2)「(仮称)富田林市子どもの貧困対策計画(素案)」の策定について ●資料7「(仮称)富田林市子どもの貧困対策計画(素案)の策定について」の説明 (説明省略)
会長	◇事務局から説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。
委員	◇身体の成長には栄養バランスのある食事が大事であるため、中学校の給食の選択制について見直しが必要ではないか。また、支払いのシステムが変わったと聞いたが使いやすくなったのか。保育所の給食の無償化についても伺いたい。
事務局	●中学校給食については、導入段階では、お弁当の選択肢も残して欲しいとの意見があったことから選択制となった経緯があるが、今は、全員給食を希望する意見も聞かれる。支払いについては、今年度よりWEBで申し込みし、コンビニや電子決済で前払いするシステムを整備した。概ね好評であるが、チャージの残高不足から給食を申し込みないということもあり、手続きの周知徹底をしているところである。
事務局	●保育所の給食の無償化について、未就学児の給食費を全員無償化とするのであれば、市の負担も大きくなる。国からの援助がどのくらいあるかにもよるが、今後どのように進めて行くかは検討しないとイケない。
委員	◇4月から子ども家庭庁が発足するが、教育部門は子ども家庭庁に入っていない。その中で、貧困対策計画では学校をプラットフォームと位置付けてとなっているが、どのように繋げていくのか。
事務局	●現時点において詳細は示されていないが、示された場合は速やかに対応していきたいと考えている。普段より関係部局との連携は密にとってしているので、引き続き連携していきたい。
委員	◇通信制に在籍する高校生や不登校の高校生で、親も課題を抱えているような子どもは相談機関とつながりにくい。そのような子どもはどのような所と繋がっていくことを想定しているのか。また、市役所まで来るのが難しい人にとって、アウトリーチ型支援の充実をどのように考えているか。
事務局	●部分的な答えになるが、教育指導室では、中学校卒業後の奨学金等の金銭面

事務局	<p>では相談を受けている。電話相談も可能となっている。</p> <p>●不登校の高校生年齢の支援については、どのようなところに相談をしたら良いのかを含め、具体的な支援施策がないというのが現状である。まずはどのような相談窓口があるかを分かりやすく発信する取組を進めているところである。また、民間の相談窓口もあるので、個々の相談内容に応じて繋げていく。</p>
委員	<p>◇困窮度が高まるにつれて若年齢層での出産の割合が多くなっている。妊婦の相談先などについて、貧困対策計画書に反映してほしい。</p>
事務局	<p>6. その他</p> <p>●令和4年度子育て支援施策の取組状況について（参考資料1） （説明省略）</p>
事務局	<p>●富田林市2歳女児死亡事案について（参考資料2） （説明省略）</p>
事務局	<p>●富田林市立幼稚園・保育所の状況について（参考資料3） （説明省略）</p>
会長	<p>◇事務局から説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。</p>
委員	<p>◇一時預かりお試しチケットについて、もうすぐ3歳になる児童の保護者は利用できる期限が短いため早く利用したいと思っているが、預かってくれる園が少なく利用できないかもしれないという声を聞く。今後、受け皿を増やしていく予定はないのか。また、公立保育所では実施しないのか。</p>
事務局	<p>●8月から始まった事業なので、0歳から2歳まで一度に利用希望者が集中しているため、そのような状況となっているが、来年度は幅広い期間利用していただけるのではないかとと思っている。受け皿を増やすことについては、保育施設から実施したいとの申し出があれば増やすことも可能になってくるが、保育士の確保等の問題があり、現時点では5園での実施となっている。また、公立保育所では一時預かり事業は休止しており、再開する予定はない。</p>
委員	<p>◇学童クラブの長期休業期間における8時開設については、夏休み以外も実施と理解して良いか。</p>
事務局	<p>●今年度についてはモデル学校として6小学校で実施しており、夏休み・冬休み・春休みの全ての長期休業期間実施する。来年度は夏休みより、全学童での実施を目指したい。</p>
委員	<p>◇国が新たに実施予定の10万円の給付金について、一時預かり事業や育児ヘルパー事業が利用できるクーポンで支給する予定はあるのか。</p>
事務局	<p>●国の給付金事業「出産・子育て応援金」については、まだ市町村に詳細が下りてきていない。今後の情報を基に、これから検討していく段階である。</p>
委員	<p>◇現金での支給は使ってしまうと終わりになってしまうが、クーポンで一時預かり事業や育児ヘルパー事業等を利用することで、国が求める伴走型相談支</p>

委員	<p>援に繋がるきっかけとなるため、地域と繋げることを目標にクーポンでの支給も考えてもらいたい。</p> <p>◇とんだばやしメールは登録制なのか。みんなが登録すれば、情報収集に良いのでは。</p>
事務局	<p>●登録制であり、希望者が登録する仕組みになっている。全員登録はなかなか難しいが、登録者数を増やすために広く周知する方法を考えていく必要がある。</p>
委員	<p>◇9歳以下の新型コロナ抗原検査キットの無償配布について、個人申請と施設申請があるが、どのように行っているのか。</p>
事務局	<p>●市立幼稚園・小学校については、施設から大阪府へ申請し配布している。同時に、個人でも申請できると手紙を通じてお知らせしている。</p>
事務局	<p>●市立保育所は市立幼稚園と同じ方法で配布しており、民間保育施設には無償配布があると通知し、各民間保育施設で対応するようお願いしている。すでに届いている施設もある。</p>
会長	<p>◇他に質問や意見はないか (意見なし)</p>
会長	<p>◇本日の案件については、以上とする。</p>
事務局	<p>●次回の会議は、案件2で説明した「(仮称) 富田林市子どもの貧困対策計画(素案)」のパブリックコメントの実施状況についての会議を開催する。開催時期は2月～3月を予定しているが、会長とも相談しながら、時期が来たら案内させていただく。</p> <p>7. 閉会 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て福祉部付部長兼こども未来室長より挨拶 <p style="text-align: right;">以上</p>